

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ②⑤

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 正直、ガッカリです！2回目の交渉でも会社は「3ヶ月支払う体力はある」と言っていました。ですが、結局2.2ヶ月。会社の社員に対する評価はその程度。いくら「最大の赤字」といっても、働いている私たちはこれまでと一切業務内容は変わりませんし、逆にコロナを気にしながら、注意をしながらの業務で、これまで以上の緊張感を持っておこなってきました。その気持ち、苦労を本当に経営側は分かっているのでしょうか？
もう一度言います。私たちの業務量は減っていません！
どこでモチベーションを維持すれば良いのか分かりません！低下するばかりです！「追加支給」の取り組みを職場から盛り上げていきます！
- 交渉は「言い値」が出てからが勝負だ！未来を切り拓く闘い！共に頑張ろう！
- 2.2ヶ月では足りません！追加支給！冷静かつ熱くやりましょう！俺たちのボーナスですから！
職場では管理者の意識レベルが低くなっているように感じています。私たちから職場のコミュニケーションを創造していこう！
- まさか「夏よりは少くないだろう」と思っていたので、2.2ヶ月という数字にモチベーションは駄々下がり。会社は自ら「出せる体力はある」と言ったのに、この回答では「人に投資はしません」と言っていることと同じことだ。
儲かっているときに出し渋り、収入減でさらに下げ、社員にはコストカット、効率化を強要してきて、ボーナスは3割減。今後、この会社には不安と不満しかない！
- 若手社員は「少ない」と不満をグチっているだけ。不満だけでは改善できない！労働組合でないと改善できない！東日本ユニオンと一緒に声をあげよう！
- 職場の意見をまったく聞く耳すらもたない。団体交渉に出た者がどれだけ悔しい想いをしたのか！団体交渉での回答に対しても平気で裏切るんですからね。どれだけ真面目で優秀な人たちが会社運営を含めて真剣に議論をしても「現場と支社は違います」が会社側の言い分です。
「たたき上げ」で管理者となった人たちも職場で怒りを感じていますよ。ただ、労働組合に未加入の社員は「怒りの向け方」すらわからない状態ではないでしょうか。一緒に声をあげましょう！